

● 選挙ではだんまり

去年の区長選挙では、10年以内に区役所を建て替えるなどとは、どの区長候補も言っていませんでした。選挙が終わると、大問題をこっそりと出してくる区民不在のやり方は許せません。

● 老朽化したというけど

09年2月に行った劣化調査によれば、耐用年数は65年で、10年後に大規模改修を行えば、19年は使えるとしています。

お金がないと言って区民サービスは切り詰めておきながら、区役所だけがピカピカというのは、区民には納得のいく話ではありません。

改修すれば大丈夫ならば、場所は変わらないほうがいいと思います。

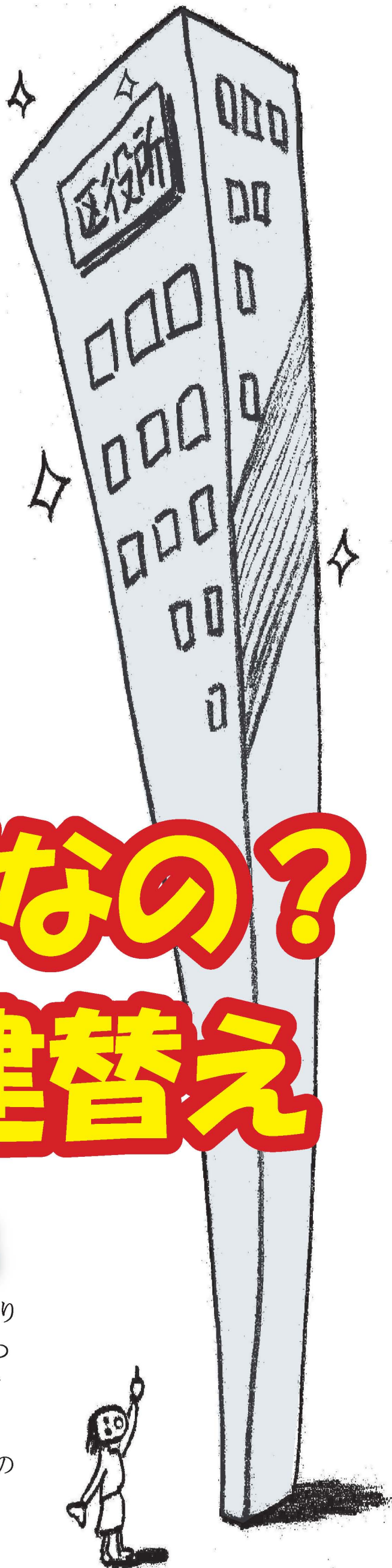
移転し、豪華な建物にして莫大な費用をかける位なら、傷んだ集会所を直したり、足らない保育園や学童保育クラブを作ってほしいです。

東金町在住(主婦)
石田侑希さん

● 本音は立石の再開発推進

今年の2月に出された「総合庁舎整備手法検討調査業務報告書」では、立石の再開発ビルの中に建設することが最良であるかのように誘導しています。

無理やり開発を推進するために区役所の移転を決めようとしているとしたら、ただの無駄遣いで済ますわけにはいきません。



本当に必要なの？ 区役所の建替え

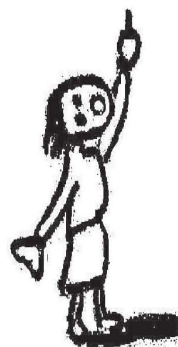
区民のくらし・福祉は 23 区最低

葛飾区の福祉は、不本意なことはいくつもの23区最低があります。例えば、福祉タクシーの年齢制限65歳未満、紙おむつ支給は要介護4以上、就学援助は、実質生活保護基準以下など。

日本共産党葛飾区議団だより 2010年夏 号外
発行 日本共産党葛飾区議会議員団
tel 5654-8521 fax 5698-3839
責任者濱川ひとし

<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>

自民、公明、民主などは、区長提案の予算にすべて賛成してきました。



後期高齢者医療制度廃止・普天間基地無条件撤去 国政でも区政でも政治を前に

日本共産党区議団は、低所得者への区民税の減免など区民生活応援を第一にすえて、政策を提案しています。

800億円もある積立金の一部を使えば実現できます。



日本共産党区議団が提案



その① 子育て応援

安心して子どもを産めるように、10万円の出産祝い金。待機児をなくすために、保育園、学童保育クラブの増設。第2子の保育料は無料に。どの子もすこやかに育ち、元気に学校生活をおくれるように、30人学級の実現。就学援助基準の改善。ひとり親家庭への家賃補助。

75歳以上の方の医療費を無料に。だれもが安心してお医者さんに通えるよう、生活の大変な世帯への国保料の減額。資格証発行（国保証取り上げ）の中止。

特別養護老人ホームを地域に。寝たきりのお年寄りの方へ、月一万円の介護手当を支給。

その② お年寄りの 安心のために



その③ 中小企業応援

区内の全ての事業者の実態を区幹部職員を先頭に訪問調査し、具体的な援助施策を実施。

区独自の直貸し融資制度の実施。
区内業者のための発注の機会を増やす。

区役所など、区の施設の温室効果ガスを大幅削減。

学校をはじめ、公共施設に太陽光発電を積極的に設置。

その④ ECO（環境）



区内で週に1～2回の割合で無料生活法律相談を行っています。（事前に連絡をお願いします。）

年金相談も行っています

無料生活
法律相談



中村しんご区議 第三水曜日
090-8686-2671



三小田准一区議 第二木曜日
090-8040-1181



中江秀夫区議 第四水曜日
090-2176-5756



渡辺きょう子区議 第一水曜日
080-6700-5960



おりかき明区議 第三金曜日
090-3524-6719



仙波 稔地域 第三金曜日
080-3751-7806



和泉なおみ 都政対策委員長
（社会保険労務士）
03-3967-2101